

代表質問

人と人の絆を深めて、災害とコロナに負けない安心安全な大牟田を築いていく



動画視聴



公明党議員団
大野 哲也 議員

災害からの復興・復旧と災害に強いまちづくりの進捗は

問 市長の復旧・復興に対する思いと決意を聞きたい。

答 現在、災害復旧事業・今後の浸水対策・生活再建に向けた総合的な支援等を行っているところ。引き続き、市職員一丸となって被災された皆様の支援とまちの復旧・復興に全力を挙げていきたい。

問 防災・復興担当部長としての決意と方針を聞きたい。

答 復旧・復興を進める方針として、被災者に寄り添うことと多様な主体と連携していくことを念頭に置き、甚大な被害を受けたふるさと大牟田が、災害前に戻るだけでなく、それ以上に復興し、市民や地域が元気になれるよう全力で取り組んでいきたい。

新型コロナウイルス感染症対策を万全に

問 ワクチン接種の現在の状況について聞きたい。

答 高齢者のワクチン接種については、県南で最も早く高齢者施設の入所者を対象に接種を開始し、それ以外の高齢

者についても集団接種、医療機関での個別接種を開始している。

6月20日までの予約分を含むと、対象となる高齢者の約3割の方が1回目の接種を終える予定。今後さらに接種を加速していくため、医療機関の個別接種の予約を約1.7倍に増やすとともに、6月4日には65歳以上の高齢者全てに接種券を送付したところ。さらに、7月4日からは、市内の集団接種会場を小中学校から文化会館に変更して接種枠の拡大も図ることとしている。加えて、県の広域接種センターの活用も図りながら、高齢者のワクチン接種の加速化を図り、今後も接種を希望する方が安心して円滑に接種できるよう、取組を進めたいと考えている。



問 市長が自ら接種して安全性を発信してはどうか。

答 私自身が自ら接種し、ワクチンの安全性について発信し、危機管理の観点からも接種をしていくことが重要だという貴重な御意見をいただい

たので、市議会が終了した後速やかに接種することを検討したい。

問 今後の優先接種の取組について、市の考えを聞きたい。

答 高齢者向けの接種のめどが立った以降には、基礎疾患を有する方々の優先接種を進める予定。

また、施設以外の高齢者介護等の従事者や、ワクチン接種ができない子供たちに接する機会の多い保育士や幼稚園教諭、小中特別支援学校の教諭等を優先接種の対象とすることについて検討している。

公立夜間中学の 早急な設置の推進を

問 公立中学校夜間学級推進事業の進捗状況を聞きたい。

答 夜間中学の推進に向けては、①先進校視察、②大学の先生を招いての教育委員会事務局研修会の開催、③学校再編の地域説明会において、各校区まちづくり協議会等やPTAに対しての周知、④夜間中学校設置校区となる大正校区まちづくり協議会において説明会を開催、⑤松原中学校教職員に対し研修会を開催等してきた。

今後、県教育委員会との協議も重ね、大学の専門家を招き、市民への講演会・説明会を開催するなど周知を図り、さらには夜間中学の入学希望者に適切な教育内容を提供できるように、ニーズ調査等を行い、丁寧に準備をした上で取組を進めていきたい。